

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和6年2月29日

事業所名: 子育てサポート ぶれ・しゅーれ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい どちらともい ない いいえ	工夫した点、改善点	はい どちらともい ない いいえ	わから ない	保護者の方のご意見					
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○	玄関ホール、2階、外回りを活用しながらスペースを確保しています。	88%	6%	6%	1階2階水遊びやしゃぼん玉を楽しむ外スペースもあり嬉しい。写真しか見ていないので不明。	活動スペースを見ていただけるよう今後、検討していきます。			
	2 職員の適切な配置	○	利用人数の多い日など、人手が足りないと感じることもあります。	94%		6%					
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○	コミュニケーションボードの設置や子どもたちが活動に集中しやすいような家具や遊具、机の配置を正しく整備しています。	94%		6%	写真やイラストがあり自分の場所がよく分かります。				
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○	毎活動前に清掃を行い、子どもさんが清潔を保てるような個々にあった空間にしています。	10%	12%	18%	活動している写真上しか分からないので細かくは不明です。	活動している様子を見ていただけるよう今後、検討していきます。			
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○	活動前、活動後にミーティングを行っています。								
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		今後、検討していきます。					今後、検討していきます。			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○	毎月のスタッフ勉強会や、自閉症eサービス等の外部研修に参加しています。								
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○	個別支援計画のミーティングを行い利用日などに子どもさんの活動の様子を伝え、保護者の方からの相談を受けています。	100%			子どもにあった支援計画になっていると思います。希望にも沿ってもらっています。				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○		100%							
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○	小集団のお集まり、近隣の公園へ散歩、個別のワーク課題など行っています。								
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○	ミーティング、支援会議にて支援の振り返りを行っています。	100%			子どもの様子を情報共有しても教えていて、それを反映してくれます。				
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○	余暇プログラムがマンネリ化しないよう本や動画を参考にしたり、若い職員からのアイデアを柔軟に取り入れています。								
	6 活動プログラムが固定化しないよう工夫の実施	○	保護者の方から子どもさんの好きな活動をお聞きし興味に沿った活動を工夫し提供しています。	94%		6%	ちょっとした子どもの発言や行動を細かく見て活動の内容を計画してくれることがあります。好きな遊びを取り入れてくれます。				
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○	夏休み企画を取り入れ休暇中の支援を行いました。								
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○	職員の役割、分担を表を記載し各自で確認を行っています。								
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○	業務日誌を使用し職員間で振り返りを記入し共有を行っています。								
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○	個人の記録ノートに記入し職員間の情報共有、引き継ぎを行っています。								
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○									
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○									
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○									



## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和6年2月29日

事業所名: チャレンジスクール えーる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい ○	どちらとも言えない △	いいえ □	工夫した点、改善点	はい ○	どちらとも言えない △	いいえ □	わからない □	保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				83%		17%		
	2 職員の適切な配置		○			61%	22%		17%	子供の行動や言動の意図、関わる視点をもって話してくれる方とそうでない方がいる。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				83%		17%		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				77%	6%		17%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○				/	/	/	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○			/	/	/	/	今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			毎月一回、法人全体でスタッフ勉強会を行っています。また、法人が開催する研修会や外部研修にも参加しています。	/	/	/	/	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上の児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				66%	22%	6%	6%	個別支援計画が渡されるのが遅くて何が目標になっているかわからない。話し合って目標と一緒に決める機会が少ない。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				78%	11%		11%	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/	
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				72%	11%		17%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○				/	/	/	/	
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				78%	11%		11%	日々の活動内容の詳細がわからない。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			長期休暇はご家族の生活状況に合わせつつ、子どもさんにとって長時間を負担なく過ごせるような活動を検討しました。	/	/	/	/	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○				/	/	/	/	
	9 支援終了後における職員間でその日行わされた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○				/	/	/	/	
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○				/	/	/	/	
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○				/	/	/	/	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施					/	/	/	/	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備					/	/	/	/	
	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○				/	/	/	/	



## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年2月29日

事業所名：チャレンジスクール えーる+

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい どちらとも言 いえ いいえ	工夫した点、改善点	はい どちらとも言 いえ いいえ わからない	保護者の方のご意見			
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○	パーテーションを減らし、スペースを確保しました。	72% 14%	14%	親は部屋に入ったことがないの で分からないです。	えーる+内の見学希望などを同 い、見学日の設定を検討しま す。	
	2 職員の適切な配置	○	職員数が少なく、焦りながら動いている日がありますが、安全には十分に配慮しています。	89%		11%		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○		82% 4%		14%		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○		82% 7%		11%		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	○						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○					今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○	毎月のスタッフ勉強会に参加したり、外部研修を受講したりしています。					
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○		93%		7%		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○		92% 4%		4%		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○						
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○		96%		4%		
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○	全体で話し合う時間が持ちにくい状況ではありますが、情報共有はしています。					
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○		79% 7%		14%		
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○						
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○	準備に追われることもあるため、その場その場で確認しながら働いています。					
	9 支援終了後における職員間でその日行わされた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○	利用者さんが全員降所した時間に終礼を行ない、情報共有を行なっています。					
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○	当日中に完了が難しい場合もありますが、翌日には書き終えるよう工夫しています。支援会議の際には日々の記録をさかのぼって話し合うこともあります。					
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○						
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○						
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施							
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備							
	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	○						

